

1989年秋の沖縄大会について

日本気象学会事務局
庶務担当理事

来年(1989年)の日本気象学会秋期大会は九州支部の担当ですが、同支部の勤めにより、沖縄支部が大会を引き受けられることになり、この春季大会の理事会で沖縄での開催が決定されました。

大会の概要は下記の通りで、沖縄支部では今大会の準備に取り組まれています。

特に沖縄支部では、参加者の便宜を図り負担を軽減し、円滑な大会運営を進めるため、コンベンションサービス機関に会場の準備・設営、参加者の航空便予約や宿泊斡旋、大会での懇親会やオプションツアー、あるいは御家族同伴の場合の観光等を協力してもらいました。

沖縄での大会は学会としても初めてのことであり、また沖縄支部としても大会開催に取り組むのは初めてであります。東南アジアに近い日本の亜熱帯海洋性気候の中で行われるのも初めての大会であります。

今沖縄は、特殊事情を乗り越え自立的発展のための基盤を整備し、平和で豊かな活力のある沖縄の実現に努めておられます。また開催地の那覇市は国際コンベンションシティの指定を受け、その振興にも取り組んでおられます。これらの動きの中で、すでに各種学会等の開催もなされ、中には予想外の参加者があったことも伝えられています。本年春の柏大会でのアンケートではかなりの会員が沖縄大会への参加を表明されております。

是非この初めての沖縄大会の成功のため、更に多数の会員諸兄がふるって参加されるようお願いいたします。

沖縄大会の概要(予定)

(1) 期日: 1989年11月7日(火)~9日(木)

(2) 会場: パシフィックホテル沖縄
(那覇市西町 3-6-1)

(3) シンポジウムのテーマ: 台風

(4) 航空運賃(見込み)

	(往復)	(割引)	(正規)
札幌-那覇:	72,000		109,000
東京-那覇:	44,000		67,000
大阪-那覇:	38,000		56,200
福岡-那覇:	30,000		44,600

(5) 宿泊

(ホテル) 1泊: 6,000円程度(朝食付き、大会会場と同一)

(その他) 共済組合関係、旅館、民宿あり

(6) オプションツアー

主に3コースがある。これ以外にも相談に応じます。

(a) 中北都観光(4,000円, 8時間)

(b) 南部観光(3,500円, 5時間)

(c) 石垣島観光(48,000円, 1泊2日)

なお那覇市、沖縄県の観光ガイドブック配布予定。

編集後記: 今年8月末になると気象庁ビルは小さなお客様でにぎやいます。たいがいは、1階の天気相談所がかたがつくのですが、ときには、私達の所まで回ってきます。天気相談所で教わったとおり来たものの、殺伐とした事務室には入り難らしく、廊下をお母さんとボクがうろろろという光景によく出くわします。気づいて、

こちらから一声かけてあげればいいのですが、そのまま帰ってしまう方も少なくないようです。注意しなくてはなりません。

天気編集も、“ドアの前まで来たものの……”という事のないようにしたいものです。

(M. K.)